

情報公開にかかる文書

同意書による同意にかえて情報公開を行う場合に作成し、倫理委員会に提出して下さい。

1 情報公開の方法

臨床研究部ホームページ(倫理委員会)への掲載

その他

文書の配付 (対象者:)

院内への掲示(掲示場所:)

2 情報公開の期間

公開期間(2015年11月 ~ 2016年10月)

3 情報公開とする理由:

同意不要(カルテ・画像等)

同意必要(既存の生体試料等)

必要な研究で、被験者に同意を得ることが困難

その他()

研究機関名：仙台医療センター

受付番号：	
研究課題名 テモゾロミド投与中の B 型肝炎ウイルス活性化に関する後方視的検討	
研究期間	西暦 2015 年 11 月(倫理委員会承認後) ～ 2016 年 10 月
研究責任者	脳神経外科医師 上之原広司
<p>研究の意義、目的</p> <p>悪性神経膠腫の治療で用いられる化学療法剤テモゾロミドは、投与中の B 型肝炎ウイルスの再活性化が報告され、劇症肝炎となった場合、重症になる可能性があります。しかしその頻度、臨床像については不明な点が多く検討の余地があります。そこで本研究では仙台医療センターで治療をおこなった膠芽腫の患者さんの B 型肝炎ウイルス関連の検査結果を検討し、投与中の問題点を明らかにすることを目的としています。</p>	
<p>対象</p> <p><input type="checkbox"/>病理組織(対象臓器名)</p> <p><input type="checkbox"/>生検組織(対象臓器名)</p> <p><input type="checkbox"/>血液材料(対象臓器名)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他(採血結果)</p> <p>上記の採取期間 西暦 2014 年 1 月 ～ 2015 年 6 月</p> <p>採取場所 脳神経外科</p>	
<p>研究方法</p> <p>2014 年 1 月から 2015 年 6 月までにテモゾロミド投与を行った 23 例の悪性神経膠腫を対象とします。この期間中の患者さんは、HBV の再活性化の予防に関するガイドラインに準じて投与前の HBs 抗原、抗体、HBc 抗体の有無、投与後の HBV ウイルスについてモニタリングを行っています。これらの結果を後方視的に検討し問題点を検討します。</p>	
参考事項	
<p>問い合わせ及び苦情等の窓口</p> <p>仙台医療センター 脳神経外科 上之原広司 (代表研究者)</p> <p>〒 983-8520 仙台市宮城野区宮城野 2-8-8</p> <p>電話 022-293-1111</p> <p>ファックス 022-257-5375</p> <p>※研究に利用されたくない場合には、上記窓口までご連絡願います。</p>	